

指定研修における行為群(案)の設定等について

指定研修における行為群(案)の設定等については、ワーキンググループにおいても様々な意見が表明されている段階であり、今回の意見を踏まえ、さらに今後議論を深めることとしている。

指定研修機関等の研修実施方法について(イメージ)

● 指定研修機関等の研修の実施は、以下のような場合が考えられるのではないかな。

- ・指定研修機関において全て研修を実施する場合
- ・指定研修機関外で実習を実施する場合

※ 各実習施設における指導は指定研修機関の策定した基準に基づいて実施し、評価は指定研修機関の責任において実施することとする。
※ 最終的な研修修了にかかる評価は、指定研修機関が主体となり考査することとする。

<指定研修機関において全て研修を実施する場合>



指定研修機関

実習施設

講義・演習
実習

※ 講義・演習にかかる教育内容は、eラーニング等の活用も可能。

<指定研修機関外で実習を実施する場合>



実習施設

・指導体制の確認
・評価基準の提示

・実習評価

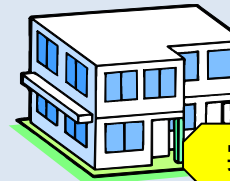


指定研修機関

・指導体制の確認
・評価基準の提示

・実習評価

・講義・演習

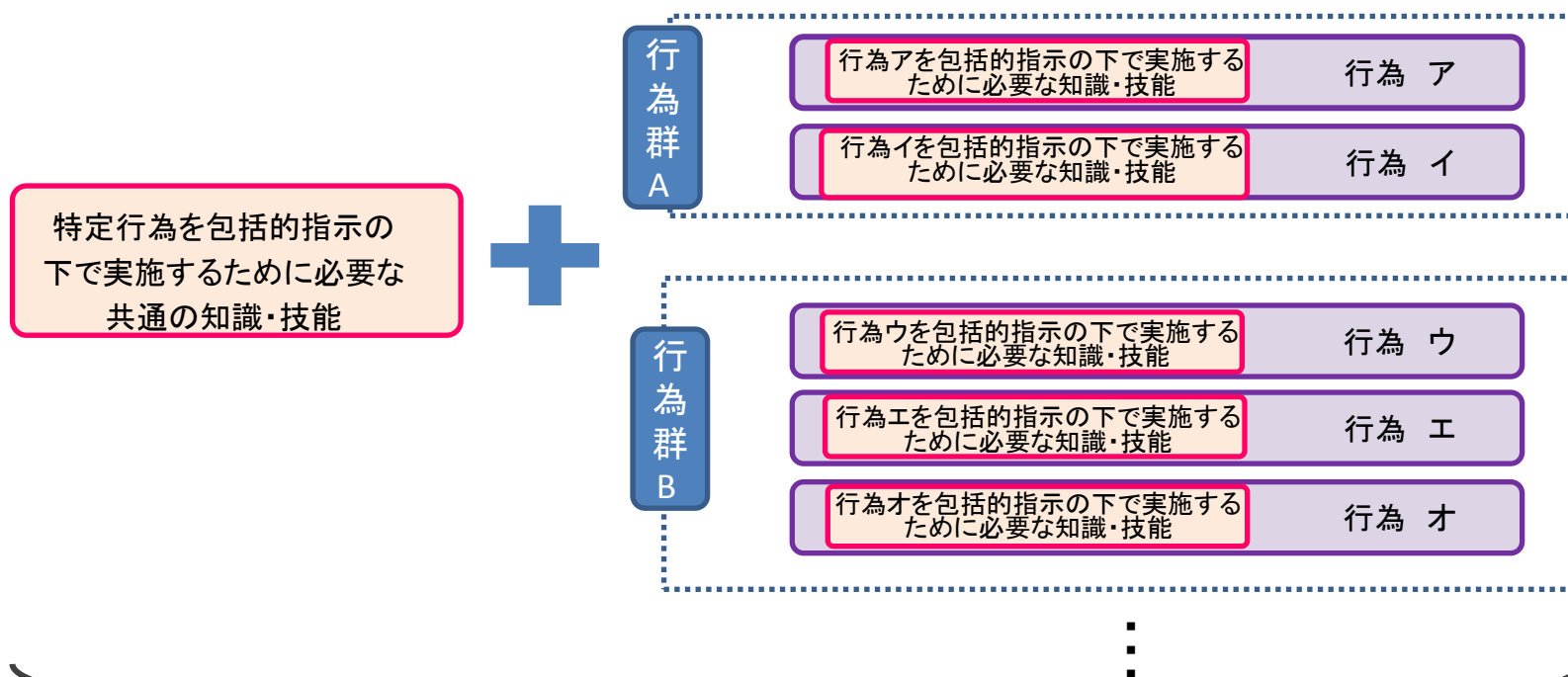


実習施設

- ※ 講義・演習にかかる教育内容は、eラーニング等の活用も可能。
- ※ 実習にかかる教育内容は、受講生の所属施設等で実施も可能。
- ※ 実習施設としては、病院・診療所・介護老人保健施設・訪問看護ステーション等が考えられる。
- ※ 訪問看護ステーションの場合は、診療所の医師が指導医となる等により指導体制を確保する。

特定行為の範囲に応じた行為群と指定研修における教育内容について(イメージ)

- 指定研修機関においては、特定行為を包括的指示の下で実施するために必要な共通の知識・技能を教授するとともに、特定行為を教授することとしてはどうか。



各指定研修機関において研修を実施

※ その他特定行為ではないが各指定研修機関において専門的な教育が必要と考える内容等について、各指定研修機関の自由裁量により追加することは差し支えない。

指定研修における行為群(案)の設定について

行為群の設定について

○「特定行為に係る看護師の研修制度(案)」における指定研修は、特定行為の範囲に応じた研修内容とすることから、特定行為を指定研修の対象となる行為群に区分する。

(チーム医療推進会議及びチーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループにおいて、チーム医療の推進に資する、という考え方にに基づき、行為群に分けて研修を行うこととされた)

○行為群は看護師による患者の病態確認の内容が類似した特定行為をまとめたものとする。

例) 行為群「循環器系」

該当する行為名	左記の行為の実施において看護師が確認する患者の病態の内容の例(循環動態を中心として病態確認)
「一時的ペースメーカー」の操作・管理	血圧、自脈とペーシングのバランス、動悸の有無など
「一時的ペースメーカー」の抜去	血圧、動悸や不整脈の有無など
PCPS(経皮的心肺補助装置)等補助循環の操作・管理	平均動脈圧、呼吸状態、心係数、尿量など
大動脈バルーンポンピング離脱のための補助頻度の調整	血圧、呼吸困難感の有無、肺動脈楔入圧、心係数、尿量など
急性血液浄化に係る透析・透析濾過装置の操作、管理	血圧、心電図モニター所見など

指定研修機関ごとの研修イメージ

- * 研修機関の指定は行為群単位で可能としてはどうか(研修機関の裁量で行為群を組み合わせる研修を提供)
- * 超急性期領域から在宅領域まで幅広く実施される特定行為については、幅広い領域で実施することを前提として指定研修を実施する
- * 受講者が、指定研修機関の提供する行為群の一部の行為群のみ受講することを可能としてはどうか

指定研修機関S(ICUなど超急性期領域に勤務する看護師の受講を想定)

【行為群:脈管系(動脈)】

直接動脈穿刺による採血
橈骨動脈ラインの確保

【行為群:循環器系】

「一時的ペースメーカー」の操作・管理
「一時的ペースメーカー」の抜去
PCPS(経皮的心肺補助装置)等補助循環の管理・操作
大動脈バルーンパンピング離脱のための補助頻度の調整
急性血液浄化に係る透析・透析濾過装置の操作、管理

【行為群:呼吸器系①】

経口・経鼻気管挿管チューブの位置調節
経口・経鼻気管挿管の実施
経口・経鼻気管挿管チューブの抜去

【行為群:呼吸器系②】

人工呼吸器モードの設定条件の変更
人工呼吸管理下の鎮静管理
人工呼吸器装着中の患者のウィーニングの実施
NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)モード設定条件の変更
気管カニューレの交換

【行為群:術後管理】

腹腔ドレーン抜去(腹腔穿刺後の抜針含む)
胸腔ドレーン抜去
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更
心嚢ドレーン抜去
創部ドレーン抜去
硬膜外チューブからの鎮痛剤の投与、投与量の調整

【行為群:薬剤投与②】

病態に応じたインスリン投与量の調整

(糖尿病の患者が多い慢性期領域などに勤務する看護師の受講を想定)

指定研修機関T

【行為群:薬剤投与②】

病態に応じたインスリン投与量の調整

【行為群:創傷管理】

褥瘡の血流のない壊死組織のシャープデブリードマン
創傷の陰圧閉鎖療法の実施
褥瘡・慢性創傷における腐骨除去

指定研修機関U(長期療養、在宅領域に勤務する看護師の受講を想定)

【ろう孔・カテーテル管理】

胃ろう・腸ろうチューブ、胃ろうボタンの交換
膀胱ろうカテーテルの交換

【行為群:創傷管理】

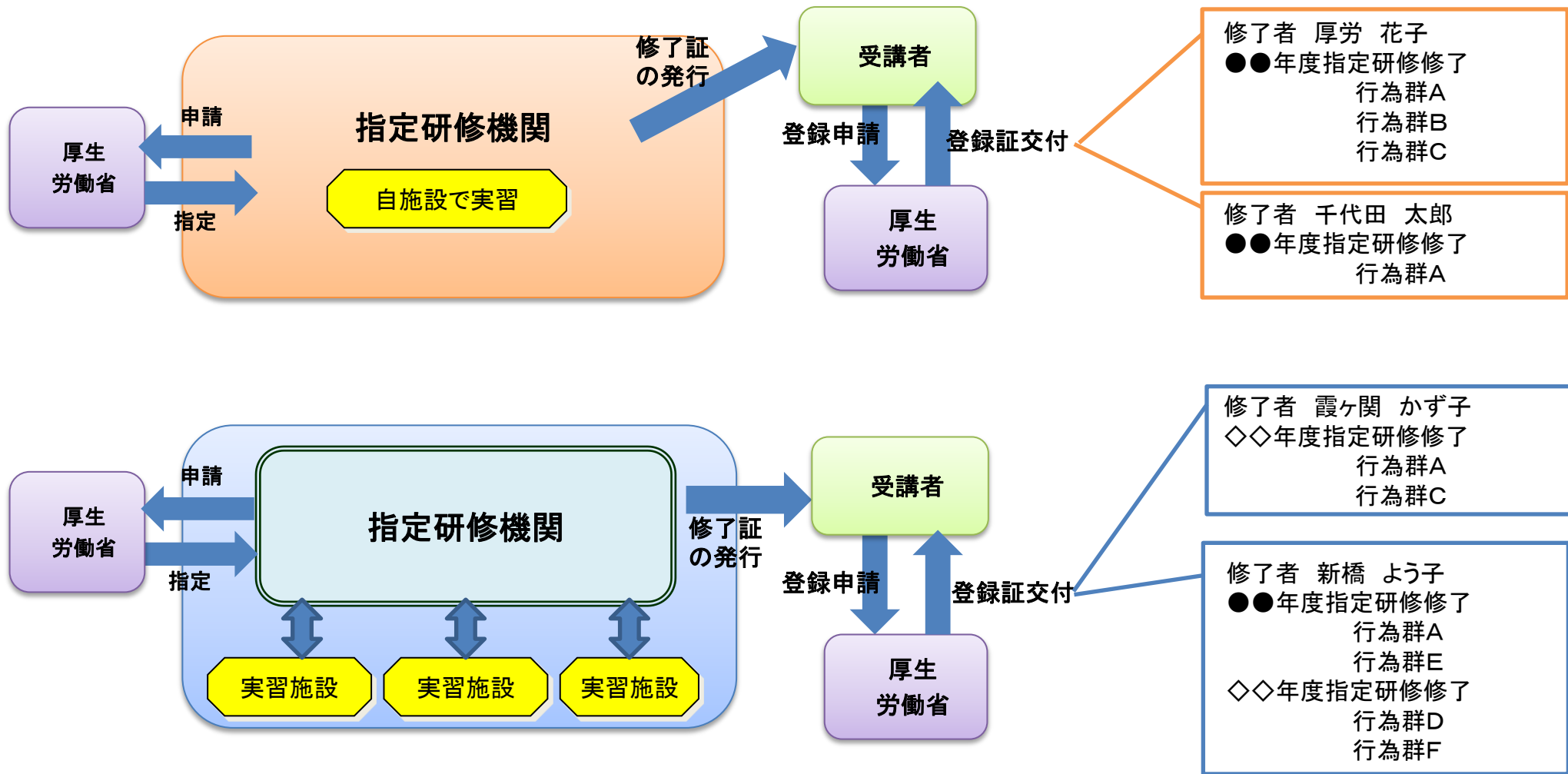
褥瘡の血流のない壊死組織のシャープデブリードマン
創傷の陰圧閉鎖療法の実施
褥瘡・慢性創傷における腐骨除去

【呼吸器系②】

人工呼吸器モードの設定条件の変更
人工呼吸管理下の鎮静管理
人工呼吸器装着中の患者のウィーニングの実施
NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)モード設定条件の変更
気管カニューレの交換

指定研修における修了登録のイメージ

【登録内容のイメージ】



* 修了登録は行為群ごとに行う

指定研修における行為群(案)一覧

行為群名	行為群に含まれる特定行為名
脈管系(動脈)	2 直接動脈穿刺による採血
	79 橈骨動脈ラインの確保
脈管系(静脈)	82 中心静脈カテーテルの抜去
	80 PICC(末梢静脈挿入式静脈カテーテル)挿入
循環器系	93 「一時的ペースメーカー」の操作・管理
	94 「一時的ペースメーカー」の抜去
	95 PCPS(経皮的心肺補助装置)等補助循環の管理・操作
	96 大動脈バルーンパンピング離脱のための補助頻度の調整
	137 急性血液浄化に係る透析・透析濾過装置の操作、管理
薬剤投与①	147-1 持続点滴投与中薬剤(降圧剤)の病態に応じた調整
	152-1 持続点滴投与中薬剤(カテコラミン)の病態に応じた調整
	153-1 持続点滴投与中薬剤(利尿剤)の病態に応じた調整
	151-1 持続点滴投与中薬剤(K、Cl、Na)の病態に応じた調整
	175-1 持続点滴投与中薬剤(糖質輸液、電解質輸液)の病態に応じた調整
薬剤投与②	131 病態に応じたインスリン投与量の調整
薬剤投与③	133 脱水の程度の判断と輸液による補正
	154-1 持続点滴投与中薬剤(高カロリー輸液)の病態に応じた調整
薬剤投与④	165-1 臨時薬剤(抗けいれん剤)の投与
	170-1 臨時薬剤(抗精神病薬)の投与
	171-1 臨時薬剤(抗不安薬)の投与
薬剤投与⑤	173-1 臨時薬剤(感染徴候時の薬剤)の投与
薬剤投与⑥	178-1 抗癌剤等の皮膚漏出時のステロイド薬の調整・局所注射の実施

行為群名	行為群に含まれる特定行為名
呼吸器系①	59 経口・経鼻気管挿管チューブの位置調節
	60 経口・経鼻気管挿管の実施
	61 経口・経鼻気管挿管チューブの抜管
呼吸器系②	62 人工呼吸器モードの設定条件の変更
	63 人工呼吸管理下の鎮静管理
	64 人工呼吸器装着中の患者のウィーニングの実施
	66 NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)モード設定条件の変更
	57 気管カニューレの交換
術後管理	86 腹腔ドレーン抜去(腹腔穿刺後の抜針含む)
	88 胸腔ドレーン抜去
	89 胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更
	90 心嚢ドレーン抜去
	91 創部ドレーン抜去
	182 硬膜外チューブからの鎮痛剤の投与、投与量の調整
創傷管理	69・70-2 褥瘡の血流のない壊死組織のシャープデブリードマン
	74 創傷の陰圧閉鎖療法の実施
	1002 褥瘡・慢性創傷における腐骨除去
ろう孔・カテーテル管理	109・110・112-2 胃ろう・腸ろうチューブ、胃ろうボタンの交換
	113 膀胱ろうカテーテルの交換

※行為群間で行為の重複はしないものとして整理している。